

農 研 速 報

2021 年 8 月 5 日発行
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
 〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
 TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(7月26日現在、龍ヶ崎市)

地 域 名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	問 題 点	備 考
	本 年	対 平 年 遅 速			
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	里のほほえみ 第9本葉展開期 納豆小粒 第9本葉展開期	平年並 遅い	<p>龍ヶ崎市における6月第5半旬～7月第5半旬の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。</p> <p>【気象】 気 温: 平均気温は平年並であった(平年差-0.4℃、図1)。 降 水 量: 平年比 165%と多かった(図2)。 日照時間: 平年比 115%と平年並であった(図3)。</p> <p>【生育】 7月26日調査時点での地上部の生育は、「里のほほえみ」は概ね平年並となったが、「納豆小粒」は平年を下回った。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。</p> <p><u>里のほほえみ</u>: 分枝数はやや多く、主茎長はやや短く、主茎節数、茎の太さ、地上部生体重は平年並であった。</p> <p><u>納豆小粒</u>: 分枝数は平年並で、主茎長は短く、主茎節数はやや少なく、茎の太さはやや細く、地上部生体重はやや軽かった。</p> <p>写真1に7月27日時点の所内大豆の生育状況を示した。</p>	なし	<p>●中耕・培土●</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、1回目は第4本葉展開期に子葉節まで、2回目は第7本葉展開期に初生葉節まで実施する。本年は、1回目を第6本葉展開期の7月19日に実施し、2回目を第9本葉展開期の7月26日に実施した。 <p>○紫斑病、葉焼病、莢害虫等の発生に注意し、適期防除に努める。</p> <p>○開花期以降の水分不足は着莢数の減少につながるため、必要な場合は灌水を行う。</p> <p>○病害虫の発生予察については、病害虫防除部のホームページを参照する。 (http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/)</p>

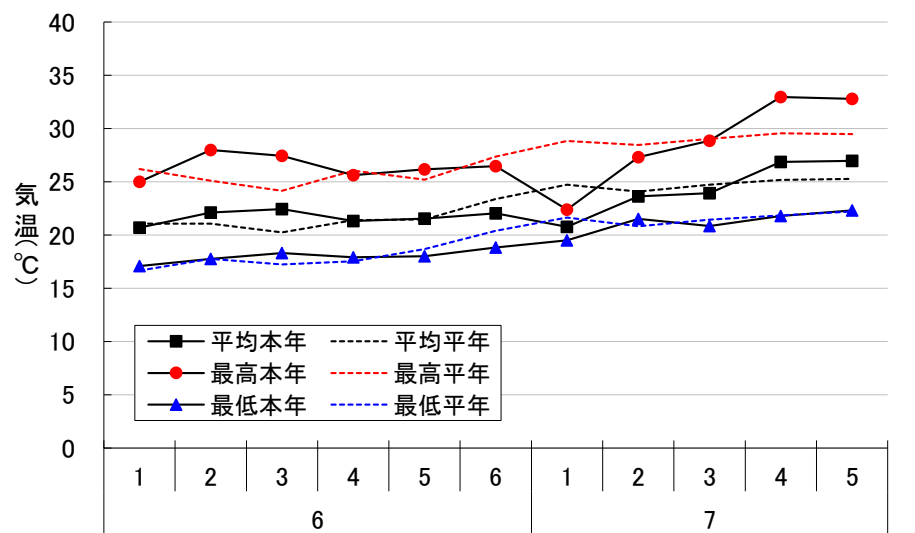


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

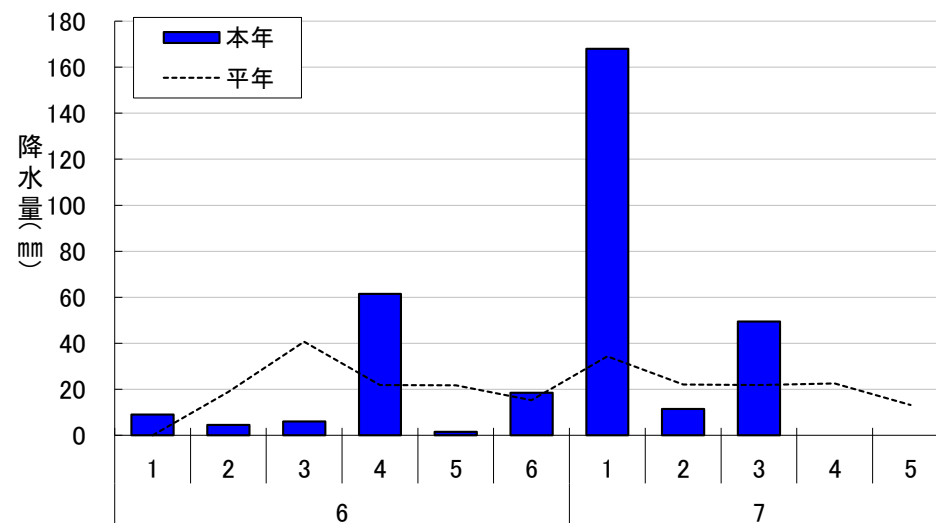


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

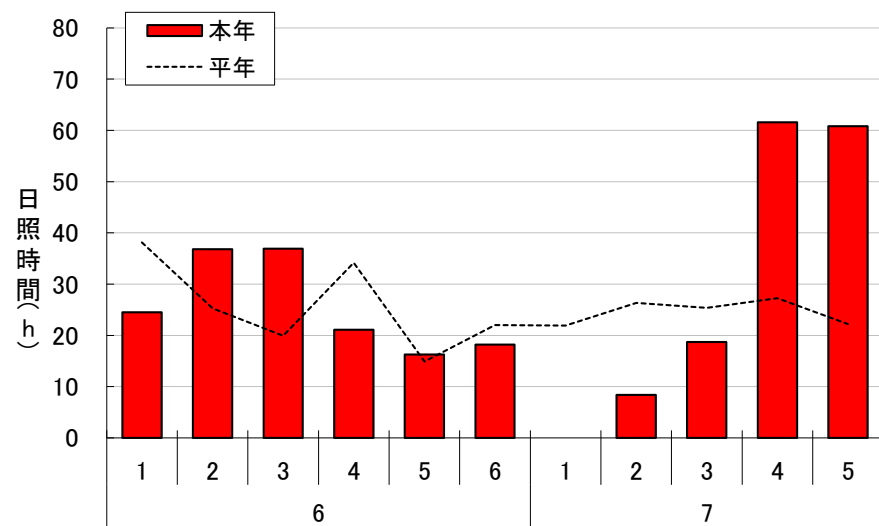


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表 1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	31	95	80	9.8	101	95	1.7	659	142	8.5	132	96	54.4	177	91
納豆小粒	23	91	70	9.8	111	90	2.0	－	123	5.5	128	84	27.6	208	58

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換1年目（前作麦）
- 2) 播種期：6月18日
- 3) 播種密度：11.1株/㎡（畦間60cm、株間15cm）1本立て
- 4) 基肥：N-P₂O₅-K₂O＝0.3-1.2-1.2kg/a
- 5) 中耕・培土：7月19日、7月26日（それぞれ子葉節、初生葉節まで実施）

【注釈】

- 1) 生育調査は7月26日に実施
- 2) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

平成28年～令和2年播種の5ヵ年の平均値



写真 1 所内大豆の生育状況（7月27日撮影、左から里のほほえみ、納豆小粒）

気象概況および生育状況における表現について

平年値（過去5年間の平均値）との違いの程度を、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めています。
さらに、「低い（少ない）」、「高い（多い）」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

